

第六回山頭火ふるさと館自由律俳句大会 受賞作品一覧

【一般の部】 応募数一九七七句・応募者数八六四人

				最優秀賞	防府市長賞	防府市文化協会 会長賞		佳作	
作品				「冷えますね」の一言であたたまり	まるい背でまた来ておくれと見送られ	ほっと安堵の肉じゃがほふほふ		あの夢どこに置いてきたんだっけ	
氏名				神奈川県 ひぐち紀	和歌山県 藤堂まり子	愛知県 飯島 隆		埼玉県 新井 秀弥	
						鳥取県 岩田 侃大		三重県 小林 寛久	
						山口県 和寄はると		山口県 和寄はると	

【子どもの部】 応募数一一四五句・応募者数七四〇人

				最優秀賞	防府市教育委員会 教育長賞		防府市文化協会 会長賞		佳作	
作品				ママのりんごがむけるまでせのびしてまつ	母からうけつぐ思いやりのバトンリレー		つられてしまっ日溜まりのような笑話		軽快に歩く正解のない生き方	
氏名				福島県 6才 浅野 真緒	山口県 小4 藤井咲玲那		福岡県 中3 篠原 里緒		山口県 中3 杉村 康雄	
							福岡県 中3 森田有里奈		福岡県 中3 山口 加恵	

第六回山頭火ふるさと館自由律俳句大会

入選作品一覧

【一般の部】六十三句

母の小包からあふれ出る真心	福島県	浅野 理恵
親譲り 似たように生きてる無骨者	岡山県	有吉 一行
明日を探す娘昨日を探す母	京都府	岸野 由夏里
聞こえるかと問えば目はいいと答える母	鹿児島県	北園 敬
顔じゆうでうまいと言っている新酒です	神奈川県	北村 純一
たんぽぽの絮ささやくように吹く母と居る	神奈川県	北村 純一
茶封筒の父の鉛筆の文字「朝顔の種」	東京都	小林 和子
動きはじめる再就職の腕時計	山口県	佐川 智英実
面会時間が終わるころ 母の寡黙	神奈川県	下村 修
定年という安堵の後に残る空虚	千葉県	もふもふ
平凡が幸せに寄り添って歩いている	山口県	永富 衛
栗ご飯やさしい匂いは雪降る合図	徳島県	中西 友奏
私だけの記念日あなたの命日	佐賀県	原口 朝光
父さんと暮らしたいから帰ってきたよ	兵庫県	アート・ばあちゃん
宝ものと小さな手で抱えるまつぼっくり	長野県	横山 かおり
何度も染め直した私を纏う	京都府	楽遊原
貧しくも老いた母と過ごす幸せの時	東京都	芦帽
はるきやべつやわらかなあなたのきづかい	東京都	石川 聡
小指で交わした約束を薬指で	埼玉県	伊藤 煌太
何も言わない父のあとついで行く	群馬県	伊藤 幸江
気づけば笑ってるなんだか今日は幸せな日	徳島県	井上 菜子
壁紙が白いほど引き立っている生活感	岡山県	岩中 幹夫
まるくあかるくトンネルをぬける	香川県	薄井 啓司
マスク越しの言葉君を見る夜	奈良県	浦城 亮祐
日めくりカレンダーもうめくらぬことにする老	茨城県	海老原 順子
いつか逝く己 <small>おのれ</small> に目をそむけている	東京都	大野 哲太郎
朝が旨い、生きている	東京都	岡崎 みのる
もう来ない駅を見つめる	埼玉県	奥本 佳史
空っぽの心は重い	山梨県	小俣 ふじ子
終活の手しばし止めさせる孫の戯れ	東京都	梶浦 公靖
背負うものがない背中が痛い	千葉県	片岡 秀樹
きつと和解 <small>わかい</small> がくる静 <small>しず</small> な海 <small>うみ</small> を描 <small>えが</small> く	京都府	金澤ひろあき
嬉 <small>うれ</small> しそうな君の隣にいれたら	埼玉県	金辺 栄振
名月は良きかなこの世は急ぐまい	山口県	河村 正浩

心の中の小さな仏を育てる	愛媛県	菅 貴久代
三十年ぶりに「ママ」が「妻」に戻った	愛媛県	菅 伸明
鏡の中から私を見つめる老人がいる	愛媛県	菅 伸明
どくだみをぬきぬき深呼吸ひとつ	広島県	清見 久美子
道に迷うも旅の醍醐味	大阪府	草道 久幸
非常口の無い地球にある戦争と核	広島県	黒飛 義竹
男でも女でもなく案山子	愛知県	斉藤 浩美
熟柿ポトポト落ちる生まれた家は無人	山口県	坂本 加代
無人駅に一人雨宿り	大分県	坂本 洋一
どうしてもどうしても花になりたい	埼玉県	佐藤 あまみ
一駅前で降りて歩いてみる	埼玉県	佐藤 泰蔵
もうダメと言う友人が追い抜いてゆく景色	京都府	しん
独裁の前に命は羽毛より軽い	宮崎県	莊子 隆
秋時雨こんなにもこんなにも独り	愛媛県	高田 千帆
あつたかい味噌汁がある母がいる	北海道	高橋 十草
あかぎれの季節水と母の心配がしみる	徳島県	高橋 美優
部屋閉め切つて思いの丈を閉じ込める	東京都	田中 正博
他人だと思えば感謝が生まれます	島根県	角森 玲子
天地蹴り心跳ばすぶらんこ	山口県	出来 敦子
いつ完成するかも分からない絵を描いている	埼玉県	中西 奎斗
夜のため息に秒針が遅れる	山口県	中村 好徳
雪解けに待つ駅舎の片隅	東京都	葉月
訃報聞き羊羹へくるもじを刺す	奈良県	堀ノ内 和夫
ほうじ茶にやわらかな夜を招く	広島県	松井 町世
情熱かたむけて「私」を生きる	愛媛県	美青
孫の手が差し出す温かな団栗ひとつ	千葉県	もふもふ
決して「死ぬな」と言わない君が好き	鹿児島県	山口 麗
なれているだろうか私はきみのとくべつに	鹿児島県	山口 麗
湯をためる間だけ泣く春夜	富山県	祐宇

【子どもの部】四十二句

いえないことはいえないでいい	山口県	小6	伊藤 美音
飛行機雲の行き先は三日月	山口県	小4	野村 悠李
一人がさみしい雪だるま	山口県	中1	岡 初華
ばあばにこつてわらったランドセル	福島県	6才	浅野 真緒
見返り求めぬ優しさが愛	山口県	中3	石光 浩之
雨でもいっただんけつのうんどう会	山口県	小3	伊藤 小桜

カラフルな星あつたかい地球ぼくの家	滋賀県	小4	井上 琉
人生の手本線香花火	山口県	中3	上田 柚樹
飛んでいる咲いているふるさと	山口県	中2	大和田 紗世
この瞬間世界が動く足音だ	奈良県	小5	梶原 学叶
日ざしと言って誤魔化した火照るほほ	山口県	中3	河瀬 美桜稀
目隠しをほどくと西瓜が笑っている	山口県	中3	熊本 笙太郎
秋の夜空見上げ星と星を結ぶ	山口県	中3	坂本 晴音
大丈夫大丈夫深呼吸	福岡県	中3	重岡 玲音
太陽も海に入りたがっているだろうな	奈良県	小5	瀬田川 龍
はやくおねえちゃんってよんでほしいな	山口県	4才	武内 いろは
がんばれがんばれちゆかれたかな？	山口県	4才	武内 いろは
暑くても涼しい夜空に咲く大輪	山口県	中3	竹重 ひより
悩んで悩んでだした答えは全て正解	福岡県	中3	新田 菜音
秋風に問う妹の帽子よいずこ	山口県	中3	早川 凜
おもいきりボールをけてスツキリ	山口県	小3	原田 翔真
チャレンジして未来を変えろ	山口県	中1	平佐 晴誠
こんなにも美しく咲く冬	山口県	中3	藤田 真一
毎朝毎朝忙しいと言う家族	奈良県	小5	増田 光彦
夕日が毎日会いにくる	奈良県	小5	松本 晃龍
金木犀君にだけ話す内緒事	山口県	中1	村田 玲奈
君がくれたありがとう私の幸せ	山口県	中2	吉田 陽起
夜が明けて花は咲き花は散る	福岡県	中3	尾上 尊琉
目にかがぶふるさとどこよりもあたたかい	山口県	中2	川上 日花利
お母さんなげいつも元気でいられるの	奈良県	小5	腰越 敬太郎
あつたかくて大好きなぼくの家ほつとする	京都府	小5	齋藤 誠
ふるさとは温かい言葉が聞こえてくる	山口県	中1	貞頼 翔琉
木漏れ日溢れる静かな階段	山口県	中2	重田 咲葵
ふるさとの自然に色がふえた	山口県	中3	中司 湊人
父さんがお茶入れすぎて吸って飲む	山口県	小2	藤田 鳳一郎
夕暮れ時の真つ赤な空へのお手紙	奈良県	小5	松岡 千尋
危機一髪迫り来る手と逃げる蝉	山口県	中3	三戸 結人
かがやく夕日おやすみなさいまたあした会おう	山口県	小4	彌富 双葉
陽だまりに呼ばれて河原を歩く	山口県	中2	山下 優奈
帰っても一人	福岡県	中3	山並 優希
よく遊んだ公園いまみると小さい	山口県	中2	山本 綾音
蛍のふるさとここにある	山口県	中1	吉木 遼馬